

# 全国制覇の思い出

第16代学校長 松浦 潔

県立芦屋高等学校創立60周年を心からお祝い申し上げます。

昭和27年、芦高野球部は「4-1で八尾高を降し、夏の甲子園出場5度目にして全国制覇を実現し、深紅の優勝旗が石本主将の手に渡され、芦高校歌が甲子園球場に響きわたった。」(芦高五十年史)。平成4(1992)年の夏に、この芦高野球部の全国制覇40周年の催しが持たれて、私は、関係のみなさんの母校の校長としてお招きにあずかりました。ポートピアホテルの会場では、活躍の様子が再現され、また石本選手をはじめ当時の選手の方々との歓談が進みました。その中には、卒業後に大学野球やプロ野球で活躍された本屋敷選手の姿もありました。この催しは、私の在任中の最も大きな思い出の一つであります。

全国制覇としては、演劇部の活動があります。東京の高校全国大会で活躍し、日本の代表として富山県利賀村の会場に世界各国の代表が集まった国際大会に出場しました。そのすばらしい作品は宮沢賢治の世界をとりあげたものであったと記憶しています。何度も感動したものです。このとき活動した部員の一人は、3年間の高校生活を持って自己推薦方式で早稲田大学への合格を果たしました。たくさんの芦屋市内の方々が、この演劇部の活動を経済的に支えてくださいました。私には本校出身の県会議員さんのお助けをいただきながらお礼に回ったことが思い出されます。

西オーストラリア州パースのカラマンダ高校やジェラルトン高校との学校間交流を進めました。このときの、ホームステイを受け入れたり、海外でホームステイをした生徒諸君の生き生きとした顔が印象強く残っています。